

女性のアイデアで地産地消を推進

稲敷地域農村女性グループネットワークでは、平成19年度より、旬の農産物を使った家庭料理のコンクール「いなしき味まつり」を開催しています。入賞作品はレシピを印刷し、管内各地で消費者に配布し、地産地消の推進に役立てています。生産者であり主婦である農家女性の家庭料理は、素材の味を活かし、手早くおいしく調理できるため好評で、学校給食や公民館講座へも取り上げられ、地産地消が広がっています。

● 1つの食材から多彩な料理を披露 ●

ネットワークの代表者会議を中心に毎年テーマ食材を決めています。これまでレンコン・サツマイモ・サトイモ・ダイコン・米・米粉・漬物などをテーマに、3年間で約145品の料理が登場しました。地域を代表する農産物のほか、米粉など最近話題の新たな食材にも挑戦しています。普及センターはネットワークの事務局を務め、活動を全面的に支援しています。



同じ食材から多彩な家庭料理が登場



出品料理を試食しながらの情報交換

● 研修や情報交換での自己研鑽 ●

味まつり参加者は料理の審査の間、野菜のラッピング実習や食品流通、農と食と健康のつながりなどの講演を企画し、研修を行っています。試食時はお互い食材の特性を改めて理解したり、味付けや調理法を確認したりと大変活発に情報交換を行っています。また、最優秀賞の料理は後日講習会を開催し改めて食材の加工を学ぶ機会を設けています。

● 地域に広まるアイデアレシピ ●

毎年の入賞作品のレシピ集を作成し、管内で消費者に配布しています。忙しい農家女性の家庭料理レシピは、消費者から好評です。

平成21年度は公民館講座を依頼され、ネットワーク会員が15品の料理を消費者に教えました。また、出品料理が給食に登場するなど、ネットワークが発信した情報が広く地域に波及しています。

普及センターは今後も農家女性がいきいきと活動できるよう支援を行っていきます。



公民館講座「農家のアイデアレシピ」で講義